

1983.9.18

全國勞政結成大會

議案集

全國勞働者政治委員會

議 題

- 結 成 宣 言
- 一 行 議 案 綱 領 (別紙)
- 二 行 議 案 組 織 原 則
- 三 行 議 案 活 動 基 調 と 当 面 の 方 針
- 各 勞 政 方 針 ・ 決 意 表 明
- ス 口 一 本

同志と固く結べ

一、同志と固く結べ 生死をともにせん

いかなる迫害にも あくまで屈せず

※われらは若き兵士 プロレタリアの

(※くりかえし)

二、かたき敵の守りよ 身もてうちくだけ

血汐に赤くかがやく 旗をわが前に

※われらは若き兵士 プロレタリアの

(※くりかえし)

三、あさやけの空仰げ 勝利近づけり

さく取なき自由の国 たたかいとらん

※われらは若き兵士 プロレタリアの

(※くりかえし)

四、暴虐の敵すべて 地にひれ伏すまで

真紅の旗を前に 斗い進まん

※われらは若き兵士 プロレタリアの

(※くりかえし)

労政組織原則

一、労政は、各地区労政・単務労政の共同組織ありいは連絡・連合組織でなく、単一の指導部を置く単一組織である。

一、この単一指導部は、議長一名、事務局長一名、事務局次長一名、事務局員若干名で構成する。

一、事務局員は、事務局長・事務局次長を選出した労政班を除く各班労政より一名選出する。

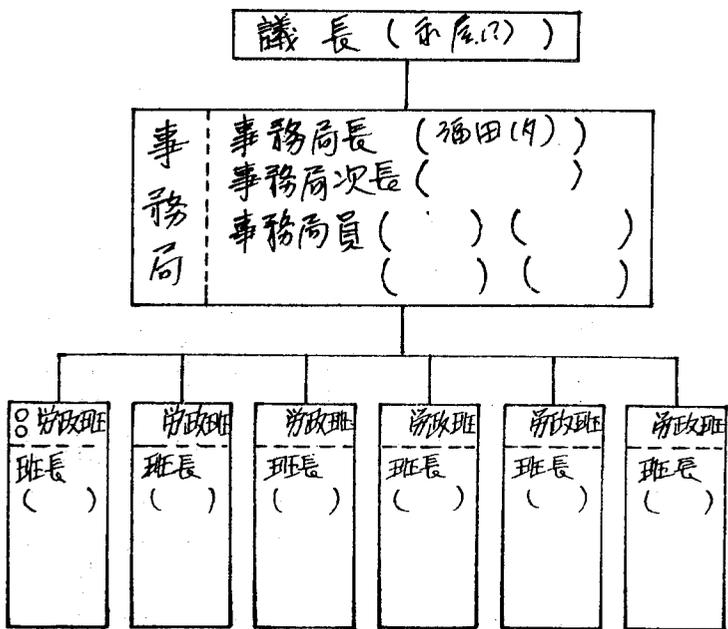
一、各班労政は、労政全体事業の利益を原則に、班独自の活動を遂行するが、その活動の責任は単一労政に負う。

一、各構成員は、労政事業の遂行について、徹底討論し、単一の決定に従う。

一、各構成員は、労政事業の遂行について、同志的批判と相互援助を原則とする。

一、会費は、一人一月 円とし、各班長がまとめて事務局に納入する。

（組織体制及び人事案）



労政活動基調と当面の方針

(労政活動基調)

何のために、単一の活動基調を作るのか。

その一、講義を決議してはならない。単一労政の実践の指針は行動綱領である。行動綱領の学習会が開始してはならない。それは比較的長期にわたる主体的な労政の活動内容を指し示すものである。

その二、日々の活動を具体的に規定する任務として、長期の全体的な方針を明らかにし、労政の具体的な条件の中で、労政は何を単一に担うのか。すなわち、日々の活動の基軸を明らかにし、整理してゆくべきである。

その三、これは無前提に机上で決めさせるものではない。その一、次のようなリマールの申請に込めるものではない。次のようなことを考える。

その四、日本階級斗争の現在の性格が、明らかに革命的高揚期である。その一、革命高揚期は、長期にわたる、なやみ期、として扱われるべきである。

現在の反戦、反核運動や労戦統一に対する活動に明らかになつて、いまだゆるやかなのであり、決して静まるべきではない。むしろ激化してはくが、現在それ自身、社会主義と革命の問題に直面しては、いまだ、社会の巨大な影響力のもとに存在している。

その五、労政の個々の活動が一律ではないという問題である。ある労政は、我々の労組陣型の内部に存在し、またある労政は、民間支配の重圧の下に存在し、あるいは何もない地域でゼロから活動をつくり出さなければならない条件の中にある。学生運動の中にも異なる部分がある。

その六、各々の労政は、専断的活動を担ってきた。この専断的活動は決して縮小するものではなく、むしろいかに拡大されるべきか。

だがこれを当該班の形成の経緯に依拠してはたかつたのではなし、単一行動綱領に基準づけられ、これを全労政の単一の立脚点として、その下に計画的意識的に、各専断領域を全労政を代表して担務せよとて切りかきついでたためには、活動基軸の整理が必要である。

その七、労政が単一の最初の歩を踏み出したばかりだと言ふ問題である。行動綱領の一部でも認めて参加してはならない。労政の階級組織としての任務を最初の段階から整理しては、様々な形成過程の、或る段階にある部分としての組織として形づくられてはならない。労政を云々のある組織として作ることは、新しい階級斗争の部分を、組織的に成長させるべきである。

前置きを長かつたが、労政の活動基軸を次の四つとして止めて、このすべてに単一労政一各班をつらぬいて責任をもって、いかに労政を作るべき提案する。

1. 階級的労働運動の陣型構築戦と、対象にぞくした階級形成戦を前進させよう。

当面、京都・関西、首都圏における階級的労働運動の陣型作りのための闘いを、労政の全体任務として闘おう。それは当面数年間の階級形成戦の戦術的中心である。これに関しては、単一労政としての労組建設への関わりを事務向を先頭に適切に組織していきたい。

他方、これと結びついた各班毎の階級形成戦を全力で準備することである。各々が持っている条件の中で、もっともふさわしいやり方を作りだし、便宜的に活動を分業するのではなくすべての労政員が、この面での活動を作り出すために努力を尽くすことは必要である。成果の大小そのものは、最大の問題ではない。少なくとも全労政員が、階級形成のための経験をつむことは、労政自身の共通の活動の質にかかわるものとして重要である。

2. 大衆的政治統一戦線とその運動を構築しよう。

この斗いは、2.の労組陣型建設が一定の物質力を背景にしているのに比べて、まず、労政の裸の独自先行型で始まる。これを広げ、いかに基盤として、戦争とファシズム準備の中で大衆的気運を盛りおこし、全人民的は政治要求へと形を導

最初の政治決起を作り出す必要はない。それは陣型内は組合指導部と結合して大量に討画的に作りだすことであり、新国主義的労働統一派や右翼日和見主義の支配する労組内ではその労組指導部への大衆的批判戦を打ちして作り出すことである。また学生の闘いであつては学園主義との大衆的分岐をひききる闘いと一体のものとして作り出すことである。

これらがかまふ労政が様々な形で実現すべき一つの活動である。この活動はわれわれの陣型内部ですら未だ決して充分ではない。この活動を強化するとともに、ただ単にその先頭に立つことのみでは労政の任務の半分である。

「反戦平和」を共通項とした全人民的政治斗争の中から行動綱領「5つの政治スローガン」として表現される当面のフロレタリア政治要求へとひきつけること。これを不断に様々なチャンスをとらえ、説明し、批判指導しつつ組織するところに労政の主体的任務をおかねはならない。社会組合主義的・経済主義的政治斗争との根本的な分岐を労働者のフロレタリア政治斗争へと体现する活動を開始しよう。

C) 社会主義と革命を掲げた革命的政争と
その共闘を建設しよう。

われわれの直面しているこの時代は、先に述べたように長期をかけて革命的高揚期へと向う。はざかい期である。この時代は、現実の階級斗争を革命運動の向にはいまだ大きなへたりにある。その一方で、戦争とファシズム準備の進行に伴なつて大衆的な政治流動は不可避となり、大多数の労働者がますます政治生活にひき入れられる。

しかし現在、「社会主義」に対するなほんな絶望が蔓延し、あらゆる大衆的憤激を改良政府の幻想にとりこまんとする社会・右翼日和見主義が階級斗争を制圧している。これに真正面から立ち向ひ、社会主義と革命をめぐる最も先鋭な政治要求を掲げた決起が、党と労政の手によって系統的・討画的に組織されていかねはならない。この活動を革命的政争として三つの基軸に掲げよう。

随々で労政は、時々の政治課題とは別個に、革命的政治斗争の基軸で、政治集会や、各種の宣伝戦を、党とともにあるいは単独で担つていく。

労政は、当然のことながら今すぐこの面での活動を均質に担えるわけではない。新しい労政員、これから参加してくる労政員に対して適切に学習活動を継続することは必

である。さらに、戦争問題を考える会、労働者活動者会議との共闘関係を、革命的政争をめぐる共闘として更に発展させよう。

d) 単一労政の組織と団結を強化しよう。

単一労政の組織建設は、より大きい普遍的な単一事業を組織するための単一組織建設にまず根本を置きたい。

何度も確認してきたように、労政は各単産、戦線母の組織の連合体ではない。未だ少数ではあるが、フロレタリア階級を代表し、その全体の利益のために献身することを決意して立ちあがった階級組織である。その出発点にふさわしく、まづ自身の組織とその団結を単一労政建設のために集中しよう。そのための単一指導部を議長・事務局として建設し、その下に派生した活動を可能にしよう。

次に、これを基礎として、各労政は、各々の独自任務を担うための組織を班として、最も活動しやすいようキャッチを決定し、基本活動をしっかりと作りあげていかなくてはならない。

この面でもう一つおとすことのできないものとして労政員間の同志的批判・援助のための意識的努力が要請されている。

労政はすそ広がりである。労政活動の中には様々なブルジョア社会のブルジョアの見解や、個人的発想等が不断に持ちこまれる。労政がすそ広がり組織をめざす限り、これらの流入そのものをシャットアウトすることなどは意味のない等物語である。その中で組織を作り、問題を解決していくためには、空直打同志的批判と、自己受容戦への同志的援助が不可欠なのである。

これを労政の活動基調の中に含めることは、広はる労働者、学生を労政へと獲得していくための日常的で基本的な課題に充てる組織として奮闘することに他ならない。

以上、掲げた四つの基本活動は各々の労政班の抱える条件の違いをのりこえて、分散し、分断された個々の階級斗争を、労働者階級の解放と資本主義の打倒のための闘いへとよりあわせていくための基軸となる活動である。

次に、この基軸を達成したことで不均質な条件の下にある単一労政の現状にそくして実現しようとした時、とりわけ次の点に注意をばらつておかねはならない。

その一つは、各労政面の発展段階の差異を積極的に埋めていくための「班間の共同闘争」や「共同情勢戦」をもちろんのこと、新たに労政組織に参加してくるメンバーのための「実情」にそくして理論上、思想上の武装のための「単一労政労働」学校なども準備する必要があるだろう。

他の一つは、各労政がその主戦場において抱える労政建設上の困難は、その班自身の個別努力のみならず、労政の全体任務として援助と助力が組織されなくてはならない。たとえば、遠隔地の労政建設のために、事業（集会など）に関西の各労政が代表派遣することや、個別労政の主戦場への筋々での集中した単一労政展開を計画することなどは必ず必要となるだろう。

（今秋闘争方針）

今秋斗争の方針に引けるに当って、三里塚斗争や労組結成等の労政がこれまで担いつづけて一定の蓄積をもつものはあえてここでは扱わない。

今秋期、最大の政治的流動の予想される11月レーガン来日・訪韓をその焦点として扱いたい。首都・京都（関西）をうらぬく11月レーガン来日・訪韓阻止斗争を労政の中心とし、この斗争は、誕生したばかりの単一労政を、文字通りの単一組織として立ち固め、均質化し、かつ創意をこらして、独自活動をも展開していくのには不可欠の斗争である。大枠は次のとおりである。

関西では、京都を主戦場に「レーガン来日・訪韓阻止京都労働者実行委」を組織し、洛南陣型を中心に労組大衆の大衆的で広はん全人民的政治決起を大規模に組合動員をも、て組織し、これを基礎として京都における労組・活動家・諸運動団体の大胆な掘りおこしを行なう。

関東では、基本的に同質のとり組みとして、労働情報系レーガン集会への批判、介入戦と、これへの労組大衆の正統的組織化を行なう。

労政は、この中心を担うとともに、自ら立ちのた大衆的政治スローガンを掲げて独自に決起し、全人民的政治斗争の中から一歩スロータリア政治要求へと接近する部分を系統的に作り出していく重層的な任務をなすわけにこの点ではないが、

以下、全体スケジュールをのべる。本大会以降、各班は独自の労政建設上の獲得目標を討議・確定し、各班組織化

計画を早急に煮詰めあわせたい。

(A) 京都レーガン斗争

① 10・15(予) 映画講演集会
日時詳細未定

交流誌「クルーフ」との共催を追求中。京都における労働者活動家、諸運動団体をひきこんだゆるやかなカンパニアとして、我々の労組陣型からは代表派遣とする。

② 10・20前後決起集会

戦争問題を考える会との共催（実行委形成）
労政としては、今秋レーガン斗争の領導任務を掲げた決起として中心のとり組みとして組織する。

③ 11月岡山集会（京労更主権）

11月9日（22日）の向に岡山野音にて自立労連ニ。、洛南労組連。労政は総力決起。10・15をステップとした全京都での労組活動家、諸団体の最大限結集をはかる。

(b) 首都レーガン斗争

① 11・6労働情報反レーガン集会への批判介入戦

② 労政前段決起集会
関西からの労政代表派遣を組織する。

* 全体討議に関する具体化は、大会以降、事務局を中心として煮詰めたい。

(以上)

スローガン

一、帝国主義の侵略反革命戦争に反対しよう！

ソ社帝の反ソロレタリア反国際主義と斗争

／＼

一、全世界の民族解放斗争、民族解放—社会主義勢力と連帯しよう！

義勢力と連帯しよう！

なだれうの**帝国主義的排外主義**を粉砕し、

真紅のソロレタリア国際主義をうち立て

よう！

一、自国帝国主義—日帝の戦争とファシズム準備と斗争しよう！

備と斗争しよう！

一、労働運動の産業報国会化と斗争、階級的労働運動を構築しよう！

働運動を構築しよう！

一、社共—中間連合政府派の幻惑を暴露し、大

衆を動員しよう！

一、全ての工場・地区・学園・戦線で「武装せ

る革命の伝導路」—「労政」を建設し、ソ

ロレタリア政治斗争を組織せよ！

一、階級のオ—次団結体—労働組合を建設し、

「共産主義の学校」として指導しよう！

一、労働貴族と斗争し、社共との党派斗争をおし

すすめ、階級的労働運動と階級的指導部を

建設しよう！

一、学生の階級的分岐をおし抜け、労政を建設

し、学生を先進的ソロレタリアートの同盟

軍として組織しよう！

一、政治警察・資本・その反革命手代の暴力的

攻撃と斗争—「労政」の組織と運動を防衛・

発展させよう！

一、今日の全人民的政治斗争—「反戦平和」の

斗争を巨魁に組織し、その中にソロレタリ

ア政治斗争—反帝国主義 反安保—の斗争

を作り出そう！

を作り出そう！

一、レーガン来日・訪韓・訪ASEAN阻止

日米韓反革命軍事同盟の強化を許すな！

一、朝鮮・アジア・パレスチナ・中南米の革命

斗争に連帯しよう！

一、軍備増強・改憲・戦後支配の総決算を狙う

中曽根内閣打倒！

一、全人民協粉砕—帝国主義的労戦統一粉砕

階級的労働運動の全国陣型を構築しよう！

一、全人民的政治斗争をソフル平和主義・市民

主義・議会主義へと引き入れる社共・右翼

日和見主義と斗争しよう！

一、あらゆる被差別人民の斗争に連帯し、諸民

主主義斗争の階級的发展を斗争しよう！

—— 資本主義の暴徒—ソロレタリアートの階級的組織——

—— 「労政」を建設し、社会主義革命・共産主義の建設へ——

—— あらゆる階級斗争の細流を統合し、勝利しよう！。——